

認知症に関する活動計画（概要）

愛知県作業療法士会では、愛知県がオレンジタウン構想の基本理念として掲げている「認知症に理解の深いまちづくり」に「じぶんごと」として取り組む社会の実現のため、作業療法士の専門性を活かした取り組みを行います。

愛知県では認知症のご本人が認知症についての発信を行う「認知症希望大使」を任命して活動を行っています。愛知県作業療法士会では認知症希望大使の活動をサポートしています。また県内の作業療法士自身の認知症の方の支援技能の向上のための研修会を8月に実施しました。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

世界アルツハイマー・デーに合わせて愛知県士会のホームページの配色をオレンジ色に変更し、アルツハイマー・デーの概要や愛知県士会としての取り組みを紹介を行います。

認知症の人と家族の会との連携事業

愛知県士会として連携事業は行っていませんが、会員の作業療法士が認知症の人と家族の会愛知県支部の世話人を務めています。若年性認知症ご本人・ご家族交流会（元気かい）や認知症介護家族への認知症の方への作業療法の講義（家族支援プログラム）、ケアラズカフェ、電話相談、認知症介護家族のための仕事と介護の両立支援プログラム、研究班などに参画しています。

愛知県認知症本人発信支援事業

愛知県では愛知県認知症希望大使として認知症当事者のご本人2名が任命され、ご自身の体験や希望などを伝えていただくことにより、多くの方々に元気づけ、認知症に対する正しい理解を広める活動を行っています。

愛知県作業療法士会は愛知県から「愛知県認知症本人発信支援事業」を受託し、認知症希望大使のサポートを行っています。認知症希望大使としてどのような活動を行いたいかニーズを聴き取り、活動計画を立て、当日の活動の支援まで行います。具体的な活動内容として、県や市町村主催の講演会、学校での講義、市町村でのピアサポート事業などが計画されています。



COVID-19の影響・対応など

愛知県士会活動への影響として、対面での研修会は開催せず、オンラインでの研修会を計画しています。認知症希望大使の活動支援でも感染状況に合わせた対策を講じながら支援を行っています。